

令和4年度 栗原市議会 議会報告会

日時・場所：12ページ参照

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議員自己紹介

4 議会報告

(1) 常任委員会及び特別委員会の調査活動報告

- ① 総務常任委員会 (3ページ)
- ② 産業建設常任委員会 (5ページ)
- ③ 文教民生常任委員会 (7ページ)
- ④ 指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会 (9ページ)

(2) 意見交換

- ① 各委員会の調査活動報告に関する意見交換
- ② その他

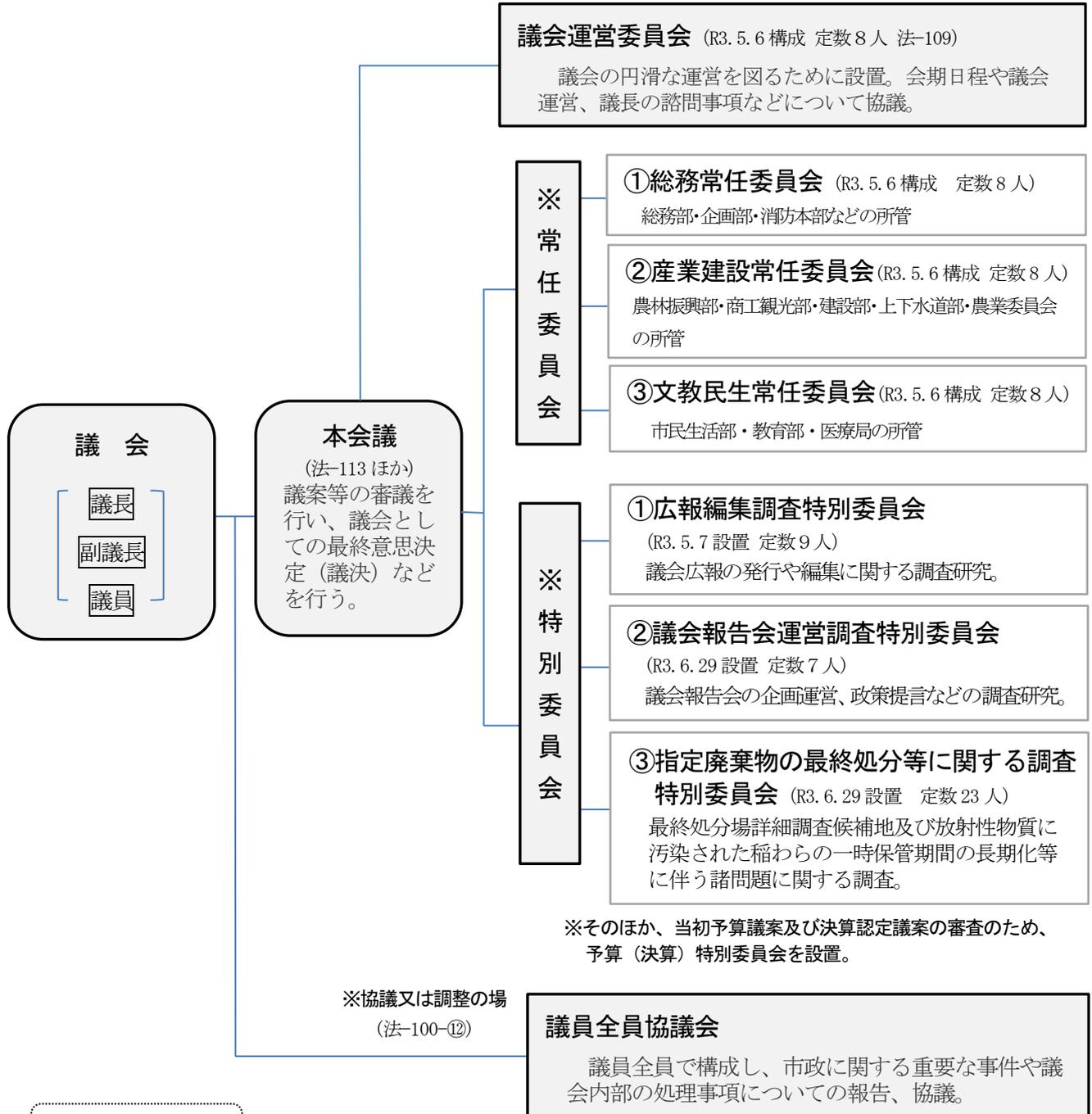
5 閉 会

～ 議会報告会に参加される市民の皆様へ ～

- 1 本日の議会報告会は、栗原市議会が主催で実施するものであります。市民の皆様から、さまざまな御意見をいただき、意見交換を行う場として位置づけておりますので、議員個人の見解を求めるような御発言は御遠慮願います。
- 2 本日、市民の皆様からいただいた御意見への対応結果につきましては、「くりはら市議会だより」に概要版を、市のホームページには全体を掲載して報告する予定です。また、本日回答ができなかった質問につきましては、持ち帰らせていただき、その結果を前述と同様に報告する予定です。
- 3 議会報告会の報告書作成のため、写真撮影及び録音を行わせていただきますので御理解願います。

～ 栗原市議会の構成図 ～

議会は、議事機関としての役割を担い、議会の活動に必要な内部組織として、常任委員会、特別委員会などが設置されている。現在、栗原市議会において設置されている組織を図に表すと概ね次のとおりである。



用語解説

- 1 **議事機関**：地方公共団体の行政運営の基本的事項の審議を行い、決定する機関。
議会は、議事機関として位置づけられている。(憲法第93条)
- 2 **常任委員会**(法-109)：議案などを専門的、能率的に審査・調査を行うために設置できる。
- 3 **特別委員会**(法-109)：特定の問題について調査研究を行うために設置できる。

総務常任委員会

◇主な調査活動等の状況（※定例会中の付託議案審査は除く。）

調査時期	調査事件
令和3年7月27日	①乗合デマンド交通に関する調査
令和3年11月5日	②くりこま高原駅駅前駐車場の運営管理等に関する調査
令和4年4月19日	③市有地の売却等に関する調査
令和4年8月4日	④小さな拠点形成事業に関する調査 ⑤くりこま高原駅駅前広場駐車場に関する調査

～ ①乗合デマンド交通に関する調査 ～

1 調査目的

他地区拠点への運行の課題等や利用者、運行経費、運行事業者からの要望、意見を把握するため。

2 調査概要

上記について担当職員から聴き取りによる調査を行った。

3 本市の現状（課題）

地域内路線である乗合デマンド交通は、旧町村内のみの運行であるため、地区外へ出ることができない。ある地区では、地区内で生活必需品が揃えられずに、地区外に行かざるを得ない交通弱者がいるため、地区外への運行要望が市に寄せられている。

仮に、地域内路線のエリアを地区外まで拡大した場合、1便あたりの運行時間が延びるため、次便に備え、新たな車両の用意や運転手の確保などに経費が嵩み、タクシー事業の売上にも影響するなどの弊害が生じる恐れがある。

4 調査結果（所見）

1便あたりの延べ利用者が1人を下回り、次便への車両調整に影響が生じにくいと思われる地区もあるため、いろいろな角度から協議し、合致するところを見出していきたい。

また、「くらしたい栗原」実現のため、利用者、運行事業者等の利害関係者と栗原の地域課題の現状を共有しあい、限られた財源の中で解決できるよう努めるべきである。

～ ⑤くりこま高原駅駅前広場駐車場に関する調査 ～

1 調査目的

くりこま高原駅駅前広場駐車場の管理方法が見直しされてからの状況を把握するため。

2 調査概要

上記について担当職員から聴き取りによる調査を行い、その後、くりこま高原駅駅前広場駐車場の現地調査を行った。

3 本市の現状

くりこま高原駅駅前広場駐車場の利用率は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛などの影響により、新型コロナウイルス感染症の発生前に比べて若干下がっている状況にある。

4 調査結果（所見）

月極めの区画や時間貸し区画を見直し、さらに自動精算機や防犯カメラを新たに設置し、支払方法の多様化も図りつつ、民間会社に管理を委託することで、駐車場の収支バランスも良くなり、防犯上も格段に良くなっていると思われる。

駅構内に定期券の更新機器も設置され、利便性を図っているが、今後も駅利用者の利便性と安全対策に努められたい。

産業建設常任委員会

◇主な調査活動等の状況（※定例会中の付託議案審査は除く。）

調査時期	調査事件
令和3年8月11日	①（仮称）栗原東大橋の建設に関する調査 ②令和3年産米の作付状況に関する調査 ③鳥獣被害対策に関する調査
令和3年11月11日	④企業誘致に関する調査
令和4年1月28日	⑤上下水道事業に関する調査 ⑥米の生産の目安に関する調査
令和4年4月20日	⑦鳥獣被害対策に関する調査
令和4年8月1日	⑧令和4年産米の作付状況に関する調査 ⑨人・農地プランに関する調査

～ ④企業誘致に関する調査 ～

1 調査目的

市内企業の健全な発展と当市の産業振興を図るため現状を把握するもの。

2 調査概要

上記について担当職員から聴き取りによる調査を行い、その後、築館地区内の企業を訪問し現地調査を行った。

3 本市の現状

市内の産業振興と市民の雇用機会の拡大を図るため、首都圏等の企業などを訪問して産業用地情報の提供と併せ、立地企業に対する各種支援策をPRし、積極的な企業誘致活動を展開するとともに、市独自の奨励金制度を創設している。

4 調査結果（所見）

奨励金の交付により市内産業の活性化と新規雇用の創出が促進されたものと考えますが、今後も産業動向を的確に把握し、より効果的な支援に取り組まれるとともに、立地後においても企業の更なる投資を促し、雇用の拡大につなげるために、立地企業の優れた製品や技術を市民や各方面に広く紹介するなど、受注拡大や新規需要の開拓に向けた支援にも力を入れるべきである。

なお、労働力人口の減少により、市内においても人材不足が深刻な問題となることが見込まれることから、企業誘致活動と併せて、人材育成・確保の方策についても検討することが必要である。

～ ⑦鳥獣被害対策に関する調査 ～

1 調査目的

鳥獣被害と鳥獣被害対策の取組状況について、現状を把握するもの。

2 調査概要

上記について担当職員から聴き取りによる調査を行い、その後、栗駒地区ではICTを活用した囲いわな及び自動捕獲システムの設置、花山地区ではワイヤーメッシュ柵の設置について現地調査を行った。

3 本市の現状

イノシシによる農作物の被害が増加する中、特に被害の多い花山地区、一迫地区及び栗駒地区の3か所で、国の交付金を活用し、イノシシの侵入を防止するワイヤーメッシュ柵が設置された。設置された柵は、それぞれ約1.8キロメートルから2キロメートルの延長で圃場を囲い、地元住民による直営施工で設置された。また、電気柵等の設置に対する支援として補助金制度を創設している。

4 調査結果（所見）

ワイヤーメッシュ柵を必要とする地域が増えると予想されることから、事業の周知徹底を図るとともに、地域合意が形成された地域には、市が積極的に支援を行うべきと考える。また、電気柵等の設置補助金についても、要望の増加が予想されることから、継続した支援を望むものである。

今後もこれまでに講じてきた鳥獣被害対策の効果を検証しながら積極的な情報共有を図り、他自治体の事例を参考としながら、より効果的な対策方法等を研究し、市内の被害を最小限に抑える取組の実施に努める必要がある。

文教民生常任委員会

◇主な調査活動等の状況（※定例会中の付託議案審査は除く。）

調査時期	調査事件
令和3年8月23日	①市立病院の医療体制に関する調査 ②GIGAスクールの現状に関する調査
令和3年11月19日	③一般廃棄物処理に関する調査
令和4年5月12日	④認定こども園に関する調査 ⑤教育研究センターに関する調査
令和4年8月9日	⑥市立はげまし学園に関する調査 ⑦小田ダムパーク湖畔ゴルフ場の現状等に関する調査

～ ①市立病院の医療体制に関する調査 ～

1 調査目的

市立病院の病床数適性化に伴う医療体制の運営状況や、病床の利用状況などを把握するため。

2 調査概要

上記について担当職員から聴き取りによる調査を行った。

3 本市の現状（課題）

社会的な人口減少に伴う医療需要の減少などにより、市立病院の財政状況に大きな影響が生じている。市は、市立3病院の経営健全化を図るため病床数の適正化を推進し、令和3年度からは先行して若柳病院・栗駒病院の2病院で病床数の再編を実施している。

4 調査結果（所見）

若柳病院と栗駒病院は見直しから3か月で病床利用率は高い水準となるなど、改善に向かって進んでいる。今後においては、引き続き経営の改善に取り組むと共に、看護師などの人員配置についても適正な運営となるよう努めるべきである。

また、令和4年度からとなっている栗原中央病院の病床数適正化については、新型コロナウイルス感染症の拡大など、未だ先が見通せない状況が続いていることから、今後の動向を見極めながら慎重かつ適切に進めていただきたい。

～ ③一般廃棄物処理に関する調査 ～

1 調査目的

一般廃棄物処理施設の現状と今後について把握するため。

2 調査概要

上記について担当職員から聴き取りによる机上調査を行った後、市内一般廃棄物処理施設の現地調査を行った。

3 本市の現状

市においては現在、クリーンセンター・衛生センター・最終処分場の3施設で、老朽化などに伴う施設の更新に向け、一般廃棄物処理施設の整備基本構想策定業務を行っている。

4 調査結果（所見）

一般廃棄物処理施設であるクリーンセンター、衛生センター、最終処分場の3施設は安全に稼働し安定していることが確認できた。

市においては現在、3施設の老朽化などに伴う施設の更新に向け、一般廃棄物処理施設の整備基本構想策定業務を行っているが、今後の計画推進に当たっては、人口減少に伴うごみ処理量やし尿処理量の減少などを考慮し、特にクリーンセンターにおいては、二酸化炭素排出量の削減や余熱利用など、地球環境にも配慮した施設の整備に努めるべきである。

一方、最終処分場の埋立量は全体の7割ほどになり、容量の上限に迫っている。今後は、施設の新設のほか、既存施設を延命化しての利用など、様々な方法を検討しながら最良の選択となるよう進めるべきである。

また、いずれの処理施設も市民の安全・安心の生活に欠かせない施設であることから、施設整備が計画通りに進むよう努めていただきたい。

指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会

◇主な調査活動等の状況（令和元年度の議会報告会～現在）

調査日等	調査内容等
令和 2 年 3 月 9 日	○汚染稲わら保管施設の調査について協議 ・市内 5 箇所の汚染稲わら保管施設の現地調査の実施を決定
令和 2 年 7 月 1 5 日	○汚染稲わら保管施設の現地調査 ・市内 5 箇所のうち、4 箇所の施設の管理状況を調査
令和 2 年 7 月 3 0 日	○汚染稲わら保管施設の排水対策を求める要望書の提出について協議 ・施設を管理する宮城県に対して要望書の提出を決定
令和 2 年 8 月 2 5 日	○汚染牧草の堆肥化处理施設候補地選定に係る進捗状況について調査 ・汚染牧草の堆肥化处理施設候補地選定に係る進捗状況について市から説明を受けた
令和 3 年 1 月 2 0 日	○汚染牧草の堆肥化处理施設候補地選定に係る進捗状況について調査 ・汚染牧草の堆肥化处理施設候補地選定に係る進捗状況について市から説明を受けた ○指定廃棄物の最終処分等について ・指定廃棄物の最終処分等に係る国の動向について市から説明を受けた
令和 3 年 9 月 2 日	○汚染牧草堆肥化处理施設候補地選定に係る進捗状況について調査 ・汚染牧草の堆肥化处理施設候補地選定に係る進捗状況について市から説明を受けた ○汚染牧草保管状況調査結果と今後の取り組み方針について調査 ・汚染牧草保管状況調査結果と今後の方向性について市から説明を受けた

調査日等	調査内容等
令和4年1月31日	○汚染牧草の今後の取り組みについての調査 ○汚染牧草堆肥化処理施設候補地選定に係る進捗状況についての調査 ・汚染牧草の処理について、令和4年度から400ベクレル以下の民家の近くで保管している14戸から農地還元（すき込み）事業を開始し、それ以外の400ベクレル以下の牧草は、令和5年度から令和7年度までの3年間で処理をする方針の説明を受けた
令和4年6月28日	○汚染牧草のすき込み作業の計画について調査 ・市から作業内容の説明を受け、市で行う汚染牧草農地還元（すき込み）事業の現地確認をすることを決定
令和4年10月5日	○汚染牧草のすき込み作業について調査（現地調査ができなかったことから動画による作業内容の説明） ・市から作業内容について動画で説明を受けた

1 汚染稲わら保管施設の現地調査の結果（令和2年7月15日）

施設管理者である宮城県において、施設周辺の定期的な除草作業や必要に応じて施設等の補修を実施しているが、柵への雨水の滞留や施設内に雨水が浸入した痕跡等も見受けられ、排水対策が必要である。

2 汚染牧草の堆肥化処理施設候補地選定に係る進捗状況

（令和2年8月25日現在）

① 候補地調査箇所数 21箇所（内訳：市有地13箇所・民有地6箇所・その他2箇所）

② 調査等の実施状況

面積や道路アクセス、電気や水道の整備状況等について、机上調査及び現地調査を行い、地区代表者との意見交換や情報収集を行いながら、候補地の選定作業を進めているが、候補地の確定までは至っていない。

（令和3年9月2日現在）

① 候補地調査箇所数 18箇所（内訳：市有地12箇所・民有地4箇所・その他2箇所）

② 調査等の実施状況

面積や道路アクセス、電気や水道の整備状況等について、机上調査及び現地調査を行い、地区代表者との意見交換や情報収集を行いながら、候補地の選定作業を進めているが、候補地の確定までは至っていない。

3 本特別委員会に関連する要望書の提出

①「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質汚染農林業系廃棄物の早期処理対策に係る要望書」

○提出期日 令和2年1月27日（環境省及び衆議院議員会館、参議院議員会館にて提出）

○提出先 環境大臣及び宮城県選出（関係）国会議員

②「汚染稲わら保管施設の排水対策を求める要望書」

○提出期日 令和2年8月11日（宮城県庁にて提出）

○提出先 宮城県農政部長

4 議会の対応

（令和2年8月25日現在）

市に対し、早急な候補地の確定と、その後の早急な汚染牧草の処理を求めた。

（令和3年2月24日現在）

平成29年第4回栗原市議会定例会において設置された調査特別委員会で、調査・検討を行い、栗原市議会委員会条例第40条に基づき、「今後も継続して調査を行い対応する必要がある」とした報告書を委員長から議長へ提出した。

（令和3年9月6日現在）

委員会では、「何も進んでいない」という捉え方が大勢であったことから、市に対し、「事業の促進について」申し入れを行った。

～ 令和4年度 栗原市議会 議会報告会開催日程等一覧 ～

開催日時	地 区	会 場
11月1日(火) 午後6時30分から	築館地区	市民活動支援センター
	若柳地区	若柳総合文化センター (ドリームパル)
	栗駒地区	栗駒総合支所
	高清水地区	高清水総合支所
11月2日(水) 午後6時30分から	鶯沢地区	鶯沢振興センター
	瀬峰地区	瀬峰総合支所
	志波姫地区	この花さくや姫プラザ
	一迫地区	一迫総合支所
11月4日(金) 午後6時30分から	金成地区	金成総合支所
	花山地区	花山石楠花センター

※ 議会報告会は約90分間を予定しております。